

第6章

自然と調和する住みよいまち

611 魅力ある街なか空間創出推進事業										街づくり計画部都市計画課		都市計画課長 小暮 桂介	
目的	「居心地が良く歩きたくなる」街なかづくりに向け、官民が連携しパブリックスペースを活用しながら魅力ある街なか空間を創出するとともに、エリア価値の向上や地域の活性化を図るため、地域主体のエリアマネジメント組織を設立し、その組織が自立・自走できるよう支援することが目的である。									開始	R4	R6	R7
										予算現額		106千円	4,939千円
内容	令和7年度はエリアプラットフォームを設立、令和8年度はエリアプラットフォームが主体となり、街の将来像を実現するための実行計画となる「未来ビジョン」の策定を支援していく。									決算額(R7見込)		100千円	4,097千円
										正規職員数		1.73人	1.54人
指標	地元商店街、まちづくりプレイヤーで構成するエリアプラットフォームを設立。 今後は、まちづくり活動を推進していくにあたり、エリアプラットフォームに係る構成員の増加を目指すもの。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		14,120千円	13,008千円
							0人	15人	18人	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	A：貢献している	必要性	A：高まっている	効率性	A：余地はない	進捗状況	B：計画どおり	方向性	Ⅱ：継続	決算額+人件費		14,220千円	17,108千円
611 所沢市域全図更新事業										街づくり計画部都市計画課		都市計画課長 小暮 桂介	
目的	都市計画法第6条に基づき、概ね5年ごとに実施することが義務付けられている「都市計画基礎調査」において、「土地利用現況」、「建物現況」等、都市現況を客観的かつ正確に把握するため「都市計画基本図(地形図)」を最新版に更新することを目的とする。									開始	R7	R6	R7
										予算現額		-	8,308千円
内容	最新の航空写真や現地データに基づき地形図を更新する。さらに建物等の経年変化を反映した最新の基礎データを整備し、都市計画の決定・変更、行政GISでの利活用、オープンデータ化が可能な電子地図データとして構築する。									決算額(R7見込)		-	7,480千円
										正規職員数		-	0.21人
指標	都市計画基本図は所沢市域全体を40図郭(1/2,500)に分割している。土地利用に変化のある又は予定のある図郭を優先的に更新し、次回の都市計画基礎調査(令和13年度発注)に向けて、全ての図郭を更新する。						R7現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		-	1,774千円
							5図郭	5図郭	40図郭	その他職員割合		-	0.00人
貢献度	A：貢献している	必要性	A：高まっている	効率性	A：余地はない	進捗状況	B：計画どおり	方向性	Ⅱ：継続	決算額+人件費		-	8,759千円
611 土地利用転換推進事業										街づくり計画部土地利用推進課		土地利用推進課長 横山 仁	
目的	市域を総合的に捉え、都市機能の無秩序な拡散防止と自然環境との調和に配慮しながら、定住人口や交流人口の増加、地域の活性化を図るため、計画的かつ適正な土地利用の転換を目指す。									開始	H28	R6	R7
										予算現額		1,988,958千円	1,723,050千円
内容	『住居系土地利用』では、みどりと調和した良好な住宅地の形成や保全を図り、『産業系土地利用』では、地域の特性を活かした産業系の土地利用を推進するものである。									決算額(R7見込)		1,749,057千円	1,615,374千円
										正規職員数		8.05人	8.20人
指標	土地区画整理事業による土地利用転換の状況を示す指標。数値は、組合施行により行われている住居系土地利用を目的とした土地区画整理事業の地区内に立地した住宅の戸数とし、令和10年度までに1,250戸を目指すもの。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		65,704千円	69,265千円
							184戸	659戸	1,250戸	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	A：貢献している	必要性	A：高まっている	効率性	A：余地はない	進捗状況	B：計画どおり	方向性	Ⅱ：継続	決算額+人件費		1,814,761千円	1,684,639千円
613 景観まちづくり推進事業										街づくり計画部都市計画課		都市計画課長 小暮 桂介	
目的	市民・事業者・市の協働によって、より一層魅力ある所沢らしい良好な景観づくりを進めることを目的とする。									開始	H23	R6	R7
										予算現額		1,139千円	1,416千円
内容	市民から「景観資源候補」を募集し、所沢らしい良好な景観の形成に資するものを「とことこ景観資源」として指定し、公表する。また、身近な景観まちづくりとして、玄関・庭での花づくりやオープンガーデンを「とことこガーデン」として指定し、公表する。 良好な景観づくりを進めるため、一定規模以上の建築物の建築等の行為について届出により、景観形成基準に基づく景観誘導を行う。									決算額(R7見込)		1,069千円	1,316千円
										正規職員数		1.24人	2.75人
指標	所沢らしい良好な景観の形成に関する取組状況を示す指標。 数値は、「とことこ景観資源」の指定件数。令和10年度までに10件の増加を目指すもの。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		10,121千円	23,229千円
							238件	238件	248件	その他職員割合		0.25人	0.25人
貢献度	A：貢献している	必要性	B：変わらない	効率性	A：余地はない	進捗状況	C：計画どおりでない	方向性	Ⅱ：継続	決算額+人件費		11,190千円	24,545千円
614 基地対策事業										経営企画部企画総務課		企画総務課長 澤 敦史	
目的	米軍所沢通信基地に関する諸問題へ対応することを目的とする。									開始	S25	R6	R7
										予算現額		619千円	623千円
内容	所沢市基地対策協議会の運営や埼玉県及び全国基地対策協議会への参画等を通じて、米軍所沢通信基地の全面返還に向けた活動を行う。 また、米軍通信基地跡地に関する諸問題への対応や、基地に関する苦情・問合せ等への対応を行う。									決算額(R7見込)		584千円	615千円
										正規職員数		1.05人	1.24人
指標	基地返還に関する要望実施件数基地返還に関する取組状況を示す指標。 数値は、米軍所沢通信基地の返還に向け、米軍及び国に対し返還要望を実施した件数。毎年度、2件をめざすもの。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		8,570千円	10,474千円
							2件	2件	2件	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	B：やや貢献している	必要性	B：変わらない	効率性	A：余地はない	進捗状況	B：計画どおり	方向性	Ⅱ：継続	決算額+人件費		9,154千円	11,089千円

621 ファルマン通り交差点外無電柱化整備事業										街づくり計画部市街地整備課		市街地整備課長 吉田 稔	
目的	ファルマン通り交差点周辺の無電柱化の整備を行うことにより、県が進める銀座地区の無電柱化と合わせて、旧町地区における災害時の通行の確保、歩行者の安全で快適な空間の確保や賑わいの創出などを目指すものである。									開始	R4	R6	R7
										予算現額		61,728千円	92,434千円
内容	ファルマン通り交差点周辺に電線共同溝を延長約530mを整備するとともに、連係管の整備を行うものである。									決算額(R7見込)		48,046千円	88,766千円
										正規職員数		0.65人	1.30人
指標	電線共同溝本管の施工延長 ファルマン通り交差点周辺を無電柱化するために、電線共同溝の整備が必要なことから、電線共同溝本管の施工延長を指標とする。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		5,305千円	10,981千円
							89m	66m	連係管整備	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		53,351千円	99,747千円
621 日東地区まちづくり事業										街づくり計画部市街地整備課		市街地整備課長 吉田 稔	
目的	東町及び日吉町の一部を区域とする日東地区について、民間活力により都市基盤の整備を図る事業を支援・誘導するとともに、安全で快適な都市環境への改善及び計画的な土地利用を誘導する街づくりを進めるものである。									開始	H17	R6	R7
										予算現額		4,798千円	2,325千円
内容	日東地区について、民間活力による都市再開発事業を支援するとともに、地区の骨格となる骨格道路整備事業について、地元の意向を確認しながら防災性の向上や広場空間の創出を図るものである。									決算額(R7見込)		3,500千円	1,764千円
										正規職員数		0.95人	1.05人
指標	日東地区の安全で快適な都市環境への改善及び計画的な土地利用を誘導する街づくりを目指すため、再開発事業と骨格道路整備事業における進捗状況を指標とする。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		7,754千円	8,869千円
							101,123人	115,624人	118,000人	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	B:やや貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	C:計画どおりでない	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		11,254千円	10,633千円
621 所沢駅西口地区まちづくり事業										街づくり計画部市街地整備課		市街地整備課長 吉田 稔	
目的	所沢駅西口地区については、本市の表玄関にふさわしい魅力と活力ある街の創出を目指す。									開始	H13	R6	R7
										予算現額		841,679千円	3,401千円
内容	計画的な土地利用の誘導によるまちづくりを進めている。									決算額(R7見込)		678,860千円	3,291千円
										正規職員数		3.45人	3.40人
指標	所沢駅の1日当たり平均乗降客数とし、令和10年度までに118,000人以上をめざすもの。 所沢駅周辺で行っている市街地開発事業によって作られる集客性の高い施設に訪れる人数を現状値に加えて目標値を設定。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		28,159千円	28,720千円
							101,123人	115,624人	118,000人	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		707,019千円	32,011千円
621 所沢駅西口土地区画整理事業										街づくり計画部市街地整備課		市街地整備課長 吉田 稔	
目的	所沢駅西口土地区画整理事業については、本市の表玄関にふさわしい魅力と活力ある街を創出する。									開始	H28	R6	R7
										予算現額		2,167,665千円	1,891,233千円
内容	所沢駅西口北街区第一種市街地再開発事業との一体的施行を行う等、賑わいと良好な住環境が両立する都市基盤の整備を進めている。									決算額(R7見込)		1,571,419千円	1,317,822千円
										正規職員数		4.95人	4.90人
指標	土地区画整理事業及び市街地再開発事業等の建物の共同化による中心商業地の活性化への効果を測る指標。数値は、所沢駅西口まちづくり事業及び日東地区まちづくり事業における周辺地域(御幸町・東町・日吉町・東住吉)に居住する人口。令和10年度までに8,700人を目指すもの。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		40,402千円	41,390千円
							8,206人	8,306人	8,700人	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	V:事業終了	決算額+人件費		1,611,821千円	1,359,212千円
621 所沢駅ふれあい通り線道路築造事業(1工区)										街づくり計画部市街地整備課		市街地整備課長 吉田 稔	
目的	鉄道と立体交差することにより、駅周辺の慢性的な交通渋滞の解消や東西市街地の一体化を図るものである。									開始	R2	R6	R7
										予算現額		1,221,207千円	2,468,157千円
内容	県道久米所沢線から東村山第7号踏切(大踏切)の通りである市道1-525号線までの延長約200mについて、建設を進めるものである。									決算額(R7見込)		1,212,233千円	1,951,691千円
										正規職員数		4.80人	3.70人
指標	所沢駅ふれあい通り線の整備により、東村山第7号踏切の遮断による所沢駅東西地区間の移動の障害を無くすことを目標とするため、ピーク時の踏切の遮断による移動支障時間(分)を指標とする。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		39,178千円	31,254千円
							51分	51分	51分	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		1,251,411千円	1,982,945千円

622 狭山ヶ丘土地区画整理事業										街づくり計画部狭山ヶ丘区画整理事務所				狭山ヶ丘区画整理事務所長 宮崎 智弘				
目的	住環境の改善を図るため、道路、公園施設等の公共施設を計画的に整備し、良好な住宅地を供給するとともに、災害に強い街づくりの形成を図ることを目的としている。									開始	S62	R6	R7					
										予算現額		982,319千円		997,458千円				
内容	事業地内の地権者から減歩により土地を抛出していただき、その土地を公共用地(道路、公園等)及び保留地に充てる。保留地については売却し、その売却収益を事業費に充当し、事業資金とする。その他の事業資金については、国庫補助金、起債、市費(繰入金)等により事業費を確保し事業を推進する。事業完了後は、道路59,729㎡(20.1%)、公園等10,005㎡(3.4%)で全体の公共用地は69,734㎡(23.5%)となる。また、立体交差道路(アンダーパス)の整備により、鉄道により分断されている事業区域の一体化を図る。									決算額(R7見込)		316,991千円		305,863千円				
										正規職員数		5.00人		5.00人				
指標	安心・安全に生活できる街づくりに関する取組状況を示す指標。 数値は、土地区画整理事業等の実施により指定する防火地域、準防火地域の面積。令和10年度までに290haを目指すもの。									R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		40,810千円		42,235千円	
										265ha	265ha	290ha	その他職員割合		1.00人		1.00人	
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費		357,801千円		348,098千円			
623 地区計画推進事業										街づくり計画部都市計画課				都市計画課長 小暮 桂介				
目的	地区計画・建築協定等の制度を活用した地域住民との協調・協働による良好な街づくりの推進を図ることを目的とする。									開始	S60	R6	R7					
										予算現額		45千円		45千円				
内容	地区計画、街づくり協定(以下「各計画等」という。)の策定を目指している地区に対する制度の説明会や住民検討会等への支援等の実施をする。併せて、各法令等に基づく各計画等の策定までにおける法令手続き事務を行う。さらに、各計画等策定後においては、各計画等の区域内の建築行為等に対する届出の処理を行う。									決算額(R7見込)		45千円		45千円				
										正規職員数		1.91人		2.55人				
指標	市街地整備の取組状況を示す指標。 数値は、地区計画・建築協定等の策定地区数。令和10年度までに36地区を目指すもの。									R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		15,589千円		21,540千円	
										36地区	34地区	36地区	その他職員割合		0.00人		0.00人	
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費		15,589千円		21,540千円			
631 道水路座標管理図面作成事業										建設部建設総務課				建設総務課長 山田 和弘				
目的	座標値をもった復元可能な道路図面を整備することにより、生活道路の後退、拡幅、舗装工事、災害時の復元など、道路整備に反映させる。									開始	S53	R6	R7					
										予算現額		6,076千円		6,136千円				
内容	国土調査が完了した区域において、都市基準点を用いた道路の境界点測量を実施し、座標値をもった道水路の確定図面を整備する。									決算額(R7見込)		4,752千円		5,445千円				
										正規職員数		0.60人		0.65人				
指標	国土調査完了区域における確定測量実施面積 国土調査完了地域において、座標値をもった道路境界確定図の整備を早期に進めるため、確定測量実施面積を指標とする。 目標値は、当該年度に行うべき確定測量の対象面積。									R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		4,897千円		5,491千円	
										0.04㎢	0.03㎢	0.04㎢	その他職員割合		0.30人		0.05人	
貢献度	B:やや貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費		9,649千円		10,936千円			
631 道水路境界確定事業										建設部建設総務課				建設総務課長 山田 和弘				
目的	道水路境界を確定又は修正し、確定図を整備することにより、適正な道水路の維持管理を図るとともに、民有地の土地利用の促進を図る。									開始	S35	R6	R7					
										予算現額		0千円		0千円				
内容	関係地権者からの境界確認申請による調査・立会い。道路境界の確認・同意、道路境界標の設置、確定図の受理。									決算額(R7見込)		0千円		0千円				
										正規職員数		1.15人		1.20人				
指標	申請により境界が確定した数 境界確認申請に基づいて道水路境界の確定を目指して関係地権者との立会いや調整を図り、境界を確定させることで適正な道水路境界確定図の整備が進められるため、境界が確定した数とする。									R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		9,386千円		10,136千円	
										127件	128件	127件	その他職員割合		0.00人		0.55人	
貢献度	B:やや貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費		9,386千円		10,914千円			
631 北野下富線道路築造事業										建設部道路建設課				道路建設課長 岩崎 幸司				
目的	都市計画道路北野下富線の建設により、幹線道路の環状型ネットワークを形成し、中心市街地の交通渋滞緩和を図るものである。									開始	H6	R6	R7					
										予算現額		888,487千円		618,275千円				
内容	国道463号バイパス小手指ヶ原交差点から一般県道所沢堀兼狭山線下富駿河台交差点までの延長5,500mの道路の整備を行う。									決算額(R7見込)		520,237千円		376,324千円				
										正規職員数		3.07人		3.85人				
指標	幹線道路の整備状況幹線道路の整備推進に関する取組状況を示す指標。 数値は、令和5年度の幹線道路総延長88,540m(市内39路線)のうち供用延長の割合。令和10年度までに73.0%以上をめざすもの。									R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		25,057千円		32,521千円	
										72.0%	73.5%	73.0%	その他職員割合		0.00人		0.00人	
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅰ:事業規模拡大		決算額+人件費		545,294千円		408,845千円			

631 所沢駅ふれあい通り線道路築造事業										建設部道路建設課		道路建設課長 岩崎 幸司	
目的	主要地方道東京所沢線から所沢駅東口中央通りくすのき台交差点までの延長780mの道路で、鉄道により分断されている所沢駅東西地区を道路の立体交差により一体化させ、駅周辺の慢性的な交通渋滞の解消を図るものである。									開始	H19	R6	R7
										予算現額		12,849千円	27,099千円
内容	市道1-525号線の西側は、街づくり計画部において都市基盤の整備を行い、市道1-525号線からくすのき台交差点までの区間を建設部において整備する。									決算額(R7見込)		7,103千円	12,468千円
										正規職員数		1.23人	1.95人
指標	用地取得率 道路整備にあたっては、現段階において、必要な用地を確保することが重要となるため、用地取得率を指標とする。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		10,039千円	16,472千円
							4.1%	4.1%	23.3%	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	I:事業規模拡大	決算額+人件費		17,142千円	28,940千円
632 道路改良事業										建設部道路建設課		道路建設課長 岩崎 幸司	
目的	道路拡幅等の工事により、安全性・利便性の向上や渋滞の緩和を図り、安全・安心な歩行者空間を確保するものである。									開始	S25	R6	R7
										予算現額		166,095千円	125,029千円
内容	自治会等から道路拡幅等の要望があった市道について、優先整備計画を基に、狭あい道路の拡幅や交差点改良、歩道整備を行う。									決算額(R7見込)		144,136千円	103,433千円
										正規職員数		2.32人	3.00人
指標	改良整備工事実施数 優先整備計画に基づき、予算配分及び地域のバランス等を考慮して工事実施数(目標)を決定する。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		18,936千円	25,341千円
							4件	1件	3件	その他職員割合		0人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	C:計画どおりでない	方向性	II:継続	決算額+人件費		163,072千円	128,774千円
632 道路舗装事業										建設部道路建設課		道路建設課長 岩崎 幸司	
目的	市民から舗装化要望を受けた未舗装の道路について、舗装整備を行うものである。									開始	S25	R6	R7
										予算現額		0千円	0千円
内容	舗装整備により、生活道路としての安全性を図るとともに、ほこりや騒音、水溜り等を防止し、良好な住環境への改善を図る。									決算額(R7見込)		0千円	0千円
										正規職員数		0.76人	0.51人
指標	舗装整備工事実施件数(路線)						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		6,203千円	4,308千円
							1件	0件	3件	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	B:やや貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	C:計画どおりでない	方向性	II:継続	決算額+人件費		6,203千円	4,308千円
632 市道4-1386号線(上藤沢・林・宮寺間新設道路3工区)築造事業										建設部道路建設課		道路建設課長 岩崎 幸司	
目的	三ヶ島地区の交通の利便性の向上、地域の活性化及び安心・安全な歩行空間を確保するため、入間市との共同事業として新設道路を整備するものである。									開始	R2	R6	R7
										予算現額		148,920千円	95,255千円
内容	「林運動場」付近から入間市宮寺の県道所沢青梅線「南矢荻」バス停付近までの3工区のうち、所沢市分の約368mの区間を整備する。									決算額(R7見込)		116,664千円	76,937千円
										正規職員数		1.35人	1.31人
指標	新設道路の築造進捗率 新設道路の築造にあたり、大きく3段階に分け、それぞれ①設計15%→②用地購入45%→③工事40%(10%×4年)を達成数値とする。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		11,019千円	11,066千円
							50.0%	80.0%	100.0%	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	II:継続	決算額+人件費		127,683千円	88,003千円
632 県道所沢青梅線狭山湖入口交差点改良事業										建設部道路建設課		道路建設課長 岩崎 幸司	
目的	市民から舗装化要望を受けた未舗装の道路について、舗装整備を行うものである。									開始	R5	R6	R7
										予算現額		358,053千円	378,951千円
内容	舗装整備により、生活道路としての安全性を図るとともに、ほこりや騒音、水溜り等を防止し、良好な住環境への改善を図る。									決算額(R7見込)		6,618千円	51,797千円
										正規職員数		1.50人	1.16人
指標	生活道路の整備推進道路整備の取組状況を示す指標。 数値は、令和7年度から令和10年度までの整備延長。令和10年度までに728mをめざすもの。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		12,243千円	9,799千円
							-	448人	728人	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	B:やや貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	C:計画どおりでない	方向性	II:継続	決算額+人件費		18,861千円	61,596千円

632 松戸橋改築事業										建設部道路建設課		道路建設課長 岩崎 幸司	
目的	柳瀬川に架かる松戸橋は、小・中学校の通学路に指定されていることに加え、安松地区から通勤・通学のため秋津駅および新秋津駅に向かう多くの市民が利用している。また、現在、狭い河川の中に2本の橋脚があることにより、川の流れの妨げとなっている。本事業は、築造から60年以上が経過し、老朽化が進む松戸橋について、交通の円滑化や歩行者の安全性を確保するものである。									開始	R6	R6	R7
										予算現額		175,901千円	150,076千円
内容	橋の両側に歩道を設けた橋への架け替えを行うとともに、市道1-365号線の道路整備を行う。									決算額(R7見込)		19,872千円	56,893千円
										正規職員数		1.57人	1.09人
指標	計画に対する進捗率。 橋の架け替え・道路整備にあたり、大きく2段階に分け、それぞれ①用地購入40%(買収面積に基づく)→②工事60%(10%×6年)を達成数値とする。						R6現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		12,814千円	9,207千円
							0.0%	9.4%	38.9%	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	C:計画どおりでない	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		32,686千円	66,100千円
633 自転車レーン整備事業										建設部道路維持課		道路維持課長 村上 和雄	
目的	本事業は、歩道内における歩行者と自転車の接触事故を軽減し、自転車利用者の安全確保と交通の円滑化、歩行者や自動車との通行区分の明確化により、安心して安全な道路空間を創出するものである。また、「マチごとエコタウン所沢構想」の観点から「自動車から自転車へ、自転車から徒歩へ」の理念のもと、まずは自転車利用を促進させるための道づくりを進めるとともに、環境負荷の軽減を図るものである。									開始	H29	R6	R7
										予算現額		22,700千円	0千円
内容	通学路、病院や福祉施設の周辺など、自転車と歩行者の錯綜や自転車関連の事故が多い路線の安全性を向上させるため、自転車通行空間の段階的な整備を計画的に進める。自転車の通行位置を明確に示すため、路面への白色の自転車マークや矢印表示、青色系のカラー舗装等により、視認性を向上させる。									決算額(R7見込)		22,660千円	0千円
										正規職員数		0.50人	0.35人
指標	自転車レーンの整備着手路線数 自転車レーンの整備状況を測る指標である。 数値は、自転車レーンの整備着手路線数である。令和10年度までに2路線をめざすものである。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		4,081千円	2,956千円
							-	0路線	2路線	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	B:余地はある	進捗状況	C:計画どおりでない	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		26,741千円	2,956千円
634 道路照明灯維持管理事業										建設部建設総務課		建設総務課長 山田 和弘	
目的	【目的】歩行者、自転車及び車両の夜間交通の安全確保及び円滑かつ快適な利用を図る。									開始	S53	R6	R7
										予算現額		155,264千円	156,061千円
内容	【内容】道路照明灯の新設・維持管理を行う。また、リース対象の8,602灯については、契約業者へ不点連絡をし、毎月借料の支払をする。									決算額(R7見込)		152,513千円	149,261千円
										正規職員数		0.90人	0.95人
指標	修繕完了灯数 目標値:想定される修繕灯数 実績:修繕実施灯数						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		7,346千円	8,025千円
							112灯	64灯	112灯	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		159,859千円	157,286千円
634 防犯灯維持管理・補助事業										建設部建設総務課		建設総務課長 山田 和弘	
目的	【目的】夜間における道路上での犯罪被害の防止。									開始	S53	R6	R7
										予算現額		44,789千円	45,081千円
内容	【内容】防犯灯LED化整備事業により、市で一括してLED化した防犯灯の維持管理を行うこと及び、自治会等が設置、維持管理する防犯灯に対し新設費(交換を含む)及び維持管理費の一部を助成することにより防犯灯の設置が促されるとともに、防犯効果の増大が図られ、安全な都市空間を実現することになる。									決算額(R7見込)		43,828千円	44,191千円
										正規職員数		0.90人	0.90人
指標	目標値:補助金予算額 実績:補助金交付額						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		7,346千円	7,602千円
							23,647千円	23,907千円	36,172千円	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		51,174千円	51,793千円
634 歩きたくなる街路樹づくり事業										建設部道路建設課		道路建設課長 岩崎 幸司	
目的	歩きやすい歩道空間の整備を行い、「人を中心にしたマチづくり」歩いて過ごせるマチの実現を目指すものである。									開始	R3	R6	R7
										予算現額		88,800千円	60,500千円
内容	街路樹の更新を行い、木陰を創出するなど、緑陰の確保に努め、街並みと調和した街路樹を充実させる。									決算額(R7見込)		85,927千円	58,300千円
										正規職員数		0.80人	0.51人
指標	計画に対する進捗率 各年度で計画した業務がどれくらい進捗できたかで評価する。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		6,530千円	4,308千円
							100%	100%	100%	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	B:余地はある	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		92,457千円	62,608千円

634 街路樹管理事業										建設部道路維持課		道路維持課長 村上 和雄					
目的	本事業は、街路樹が持つ都市景観の形成や緑陰の創出、環境保全、防災機能を維持しながら、樹木の成長による見通し阻害や交通障害、照明灯や標識への支障を防止し、安全で快適な道路空間を確保することを目的とする。 また、倒木等の事故を未然に防ぎ、道路利用者の安全確保を図る。									開始	S49	R6	R7				
										予算現額		200,000千円		218,706千円			
内容	街路樹の定期的な剪定や除草を実施するほか、病気や腐朽菌が原因により倒木の恐れがある樹木について診断を行い、必要に応じて伐採・更新を実施し、適切な維持管理を行う。 併せて、街路樹維持管理指針に基づき樹形を整え、緑陰の確保に努めるなど、街並みと調和した道路環境の形成を進める。									決算額(R7見込)		199,992千円		218,699千円			
										正規職員数		3.50人		3.63人			
指標	街路樹剪定・除草実施延長(km) 道路の景観や道路交通の安全確保を目的とするため街路樹の剪定や除草実施延長を指標とする。					R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		28,567千円		30,663千円				
						34km	45km	58km	その他職員割合		1.00人		0.00人				
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	C:計画どおりでない		方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費		228,559千円		249,362千円	
634 道路施設等維持管理事業										建設部道路維持課		道路維持課長 村上 和雄					
目的	本事業は、道路管理者として、市道約1,163kmの安全性及び快適性を確保し、道路損傷等に起因する事故や通行支障を未然に防ぐことを目的とする。 道路施設を適切に維持管理するとともに、交通の円滑化と道路機能の維持を図ることで、道路利用者が安心して利用できる道路環境の確保に努める。									開始	S25	R6	R7				
										予算現額		770,654千円		693,945千円			
内容	道路パトロールや市民からの通報・要望により把握した舗装や道路施設等の損傷箇所について現地調査を行い、緊急性や優先度を踏まえた修繕を実施する。 また、老朽化した舗装の計画的な補修工事を進めることで、道路機能の維持・向上と安全性の確保を図る。									決算額(R7見込)		769,388千円		686,699千円			
										正規職員数		8.09人		7.67人			
指標	要望・通報に対する処理割合(%) 老朽化した道路や機能が低下した道路施設の修繕や補修を行うことが目的のため、要望・通報数に対して処理した数の割合を指標とする。					R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		66,031千円		64,788千円				
						97.0%	97.0%	100.0%	その他職員割合		1.00人		0.00人				
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり		方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費		835,419千円		751,487千円	
634 橋りょう等長寿命化修繕事業										建設部道路維持課		道路維持課長 村上 和雄					
目的	平成26年の道路法の改正により、所沢市管理の橋りょう及び横断歩道橋等の全てを5年に1回点検することとなり、計画的な点検、診断、修繕を行うことで長寿命化を行い、道路ネットワークの安全性と信頼性の確保や、維持管理費用の縮減を図るものである。									開始	H26	R6	R7				
										予算現額		75,245千円		447,566千円			
内容	所沢市橋梁長寿命化修繕計画及び所沢市横断歩道橋長寿命化修繕計画に基づき、点検→診断→設計→修繕と計画的に進め、損傷が深刻化する前に修繕を行う予防保全の維持管理手法を採用することを基本として、橋りょう等を長寿命化し、維持管理費用の縮減を図る。									決算額(R7見込)		46,035千円		221,005千円			
										正規職員数		2.90人		3.05人			
指標	橋りょう等長寿命化修繕の箇所数 橋りょうの安全性・信頼性に関する取組状況を示す指標である。 数値は、橋りょう及び横断歩道橋等の長寿命化修繕箇所数である。令和10年度までに8橋以上をめざすものである。					R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		23,670千円		25,763千円				
						2橋	3橋	8橋	その他職員割合		0.00人		0.00人				
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり		方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費		69,705千円		246,768千円	
641 地域循環乗合ワゴン(ところワゴン)運行事業										街づくり計画部都市計画課		都市計画課長 小暮 桂介					
目的	交通不便地域を解消するとともに、鉄道駅を中心とした一定の範囲を市民の生活圏としてとらえ、駅へのアクセス向上を図るなど、日常生活の足として多くの方にご利用いただけるよう、路線バスやところバスなどの他の公共交通機関との連携を図りながら、地域のニーズに応じたきめ細かな公共交通を目指す。									開始	H26	R6	R7				
										予算現額		109,053千円		98,092千円			
内容	駅を中心としたコンパクトな街づくりと合わせて、駅へのアクセスの向上が求められており、住まいと、駅周辺の都市拠点を結ぶ公共交通ネットワークの構築に向けた取組として、三ヶ島地区、柳瀬地区、富岡地区にて「ところワゴン」の運行を行う。									決算額(R7見込)		91,776千円		96,515千円			
										正規職員数		2.02人		2.15人			
指標	市内の地域公共交通の充実度を示す指標で、数値はところワゴン年間総利用者数となる。					R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		16,487千円		18,161千円				
						67,329人	96,402人	104,000人	その他職員割合		0.50人		0.50人				
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	B:余地はある	進捗状況	B:計画どおり		方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費		108,263千円		114,676千円	
641 市内循環バス(ところバス)運行事業										街づくり計画部都市計画課		都市計画課長 小暮 桂介					
目的	交通不便地域の解消、高齢者・障害者等の交通弱者対策、公共施設利用の利便性確保を目的に、市内循環バス(ところバス)を運行する。									開始	H10	R6	R7				
										予算現額		181,337千円		188,483千円			
内容	市内全域において、7コース、平日計83便、土日祝日計79便を運航する。									決算額(R7見込)		180,195千円		170,824千円			
										正規職員数		1.82人		1.95人			
指標	市内の地域公共交通の充実度を示す指標。 数値は、市内の路線バス・ところバス・ところワゴンの年間の合計利用者数。毎年度、10万人の利用者数の増加を目指すもの。					R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		14,855千円		16,472千円				
						9,260千人	9,645千人	9,760千人	その他職員割合		0.50人		0.50人				
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	B:余地はある	進捗状況	B:計画どおり		方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費		195,050千円		187,296千円	

641 ところバス・ところワゴン高齢者無料化事業(高齢者活動助成)										街づくり計画部都市計画課			都市計画課長 小暮 桂介	
目的	ところバス・ところワゴンは、高齢の市民にとって重要な移動手段となっており、運賃を無料化することで活動の機会を広げ、高齢者の健康維持・増進を図るものである。									開始	R6	R6	R7	
										予算現額		34千円	34千円	
内容	地域公共交通協議会の部会として開催する「運賃協議部会」にて、無料化に向けた協議を行う。									決算額(R7見込)	0千円	0千円		
										正規職員数	0.39人	0.33人		
指標	所沢市地域公共交通協議会の運賃協議部会における協議を実施する。 (運賃改定には運賃協議部会における協議が必須となる)						R6現状	R7実績	R7目標	正規職員数(費)	3,183千円	2,788千円		
							0回	0回	1回	その他職員割合	0.00人	0.00人		
貢献度	C:貢献の度合いが低い	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	C:計画どおりでない	方向性	Ⅲ:要改善	決算額+人件費	3,183千円	2,788千円		
642 都市高速鉄道12号線導入促進事業										街づくり計画部都市計画課			都市計画課長 小暮 桂介	
目的	東武東上線と西武池袋線に挟まれた鉄道不便地域の解消のため都市高速鉄道12号線の延伸を目指す。									開始	H5	R6	R7	
										予算現額		30千円	30千円	
内容	練馬区、新座市、清瀬市、所沢市で構成する「都市高速鉄道12号線延伸促進協議会」を開催し、また延伸促進の早期実現に向け、東京都及び埼玉県へ要望活動を実施する。									決算額(R7見込)	30千円	30千円		
										正規職員数	0.17人	0.16人		
指標	市内の鉄道の充実度を示す指標。 数値は、市内の鉄道駅の1日あたりの合計乗降客数。毎年度、2千人の乗降客数の増加を目指すもの。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	1,388千円	1,352千円		
							384千人	未確定	394千人	その他職員割合	0.00人	0.00人		
貢献度	B:やや貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	1,418千円	1,382千円		
643 西所沢駅西口改札口開設事業										市民部防犯交通安全課			防犯交通安全課長 長谷川 力	
目的	地元自治会等からの請願が提出され、市議会で採択されたことなどを受け、西所沢駅利用者の利便性向上及び安全確保を目的として取り組んでいる。									開始	H17	R6	R7	
										予算現額		120,996千円	118,399千円	
内容	平成27年に策定した西所沢駅西口開設整備計画及び令和5年に鉄道事業者と締結した基本協定に基づき、西口改札口を開設する。									決算額(R7見込)	74,121千円	84,659千円		
										正規職員数	2.15人	1.94人		
指標	西所沢駅西口改札口開設事業の進捗度西所沢駅西口改札口の開設に関する取組状況を示す指標。西所沢駅西口改札口の早期開設をめざすもの。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	17,548千円	16,387千円		
							設計	実施設計	現状値以上	その他職員割合	0.00人	1.00人		
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	91,669千円	101,046千円		
651 自主財源確保促進事業										上下水道局経営課			経営課長 中澤 宏和	
目的	水道事業の資産を有効活用することにより、自主財源の確保を図るとともに企業経営の健全化に努める。									開始	H29	R6	R7	
										予算現額		0千円	0千円	
内容	自主財源の確保に向けて、以下の取組を実施する。 ①旧水道庁舎用地の貸し付け ②検針票への広告掲載 ③広報紙への広告掲載									決算額(R7見込)	0千円	0千円		
										正規職員数	0.57人	0.28人		
指標	現金残高(水道事業会計) 公営企業の事業継続性に関する状況を示す指標。 数値は、水道事業会計における各年度末の現金残高。 目標は、安定的な事業継続のために確保すべき運転資金の値。毎年度、30億円以上をめざすもの。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	4,652千円	2,365千円		
							40億円	51億円	30億円	その他職員割合	0.00人	0.00人		
貢献度	B:やや貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	4,652千円	2,365千円		
652 出前教室実施事業										上下水道局総務課			総務課長 中林 正太	
目的	市内小学生が水道及び下水道の理解を深めるとともに、生活に欠かすことのできない水が限りある資源であることや、形を変えながら陸・海・空を循環していることなどを知ることにより水の大切さに気づき、さらに地球の環境保全に対する意識を高めることを目的とする。									開始	H28	R6	R7	
										予算現額		30千円	0千円	
内容	市内小学校に上下水道局職員を派遣し、啓発用パンフレットを使用して水道及び下水道についての出前教室を行う。									決算額(R7見込)	1千円	0千円		
										正規職員数	0.86人	0.91人		
指標	出前教室を受けた児童の①満足度・②理解度。 水道及び下水道への興味を持ち、仕組みを理解することを目的としているため、出前教室を受けた児童の満足度・理解度を指標とする。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	7,019千円	7,687千円		
							①93.2%・②95.4%	①94.6%・②95.4%	①②90%以上	その他職員割合	0.00人	0.00人		
貢献度	B:やや貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	B:余地はある	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	7,020千円	7,687千円		

652 取水井保全事業										上下水道局給水管理課			給水管理課長 坂野 浩明	
目的	自己水源の確保と保全を行い、渇水時や災害時の水源としても活用できるよう努める。									開始	H5	R6	R7	
										予算現額		17,798千円		13,717千円
内容	自己水源である取水井(35箇所)の内部清掃及び機能診断を毎年2か所実施するとともに、取水井の機能維持及び水質保全のため、揚水量約10,000㎥/日で運用する。									決算額(R7見込)		14,167千円 11,535千円		
										正規職員数		0.64人 0.89人		
指標	地下水の揚水量水の安定供給及び地下水の水質保全に関する取組状況を示す指標。 数値は、年間に汲み上げる地下水の揚水量。毎年度350万㎡以上をめざすもの。					R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	5,224千円	7,518千円			
						483万㎡/年	502万㎡/年	350万㎡/年	その他職員割合	0.00人	0.00人			
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	A:計画以上	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	19,391千円	19,053千円		
653 水道管整備事業										上下水道局水道建設課			水道建設担当参事 古澤 祐晴	
目的	高度経済成長期に布設された水道管は耐用年数を経過し、今後は大量の水道管が順次耐用年数を経過することから、引き続き市内全域に安全な水を安定的に供給するとともに災害に強い施設とするため、老朽管の更新を実施する。									開始	R3	R6	R7	
										予算現額		2,637,152千円		2,929,135千円
内容	老朽化した水道管(重要給水施設管路を含む)及び水道管未整備路線(区画整理事業地内等)について、管路の老朽度や重要度に応じて、耐久性、耐震性を持つダクタイル鋳鉄管等に整備する。									決算額(R7見込)		2,314,156千円 2,199,682千円		
										正規職員数		13.61人 13.77人		
指標	水道管の更新延長 安全な水の安定供給のため、老朽化した水道管の更新状況を示す指標。 数値は、耐久性、耐震性を持つダクタイル鋳鉄管等に更新する水道管の延長。令和10年度までに78.4kmをめざすもの。					R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	111,085千円	116,315千円			
						29.8km	47.1km	78.4km	その他職員割合	0.00人	0.00人			
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	2,425,241千円	2,315,997千円		
653 浄水場整備事業(西部浄水場更新工事)										上下水道局給水管理課			給水管理課長 坂野 浩明	
目的	所沢市水道事業経営計画に基づき、老朽化した西部浄水場を計画的に更新する。									開始	R4	R6	R7	
										予算現額		0千円 31,284千円		
内容	老朽化した西部浄水場について施設全体の再構築を行い、配水池や管理棟など全ての場内施設を計画的に更新する。									決算額(R7見込)		0千円 23,430千円		
										正規職員数		1.35人 1.40人		
指標	西部浄水場更新事業の進捗状況。 西部浄水場更新工事完了までに必要となる各段階の手続きや事業の進捗状況を指標とする。					R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	11,019千円	11,826千円			
						基本計画策定	基本設計	詳細設計	その他職員割合	0.00人	0.00人			
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	11,019千円	35,256千円		
653 浄水場施設・設備更新事業										上下水道局給水管理課			給水管理課長 坂野 浩明	
目的	所沢市水道事業経営計画に基づき、各浄水場の水道施設を計画的に更新する。									開始	H23	R6	R7	
										予算現額		157,703千円		1,962,050千円
内容	各浄水場における計装設備や機械設備等の水道施設を計画的に更新する。									決算額(R7見込)		148,480千円 1,531,038千円		
										正規職員数		3.35人 3.49人		
指標	設備の更新を実施する件数 所沢市水道事業経営計画に基づき計画的に更新工事等を行った設計業務委託完了及び更新工事完了の件数を指標とする。					R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	27,343千円	29,480千円			
						8件	3件	5件	その他職員割合	0.00人	0.00人			
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	175,823千円	1,560,518千円		
653 浄水場施設維持管理事業										上下水道局給水管理課			給水管理課長 坂野 浩明	
目的	浄水場施設等の適切な維持管理に努め、市民生活に必須となる安全・安心な「いのちの水」の供給を維持する。									開始	-	R6	R7	
										予算現額		2,819,933千円		2,857,979千円
内容	浄水場の運用にかかるもので、浄水場施設(電気設備、機械設備等)については、日常点検や補修など予防保全型の適切な維持管理に努め、機能低下が生じないよう可能な限り設備の延命化を図る。									決算額(R7見込)		2,686,226千円 2,802,470千円		
										正規職員数		6.45人 6.98人		
指標	浄水場の適切な維持管理による安全・安心な「いのちの水」の供給					R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	52,645千円	58,960千円			
						実施	実施	実施	その他職員割合	0.00人	0.00人			
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	2,738,871千円	2,861,430千円		

653 水道管維持管理事業										上下水道局給水管理課		給水管理課長 坂野 浩明	
目的	適正な水道管の維持管理を推進し、市民生活に必須となる安全・安心な「いのちの水」の供給を維持する。									開始	-	R6	R7
										予算現額		342,654千円	359,001千円
内容	水道管の維持管理にかかるもので、適切な水道管の保守・調査業務の実施や水道管の老朽化による漏水修繕等の迅速な実施に努める。									決算額(R7見込)		295,103千円	310,367千円
										正規職員数		6.65人	6.99人
指標	水道管の適切な維持管理による安全・安心な「いのちの水」の供給						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		54,277千円	59,045千円
							実施	実施	実施	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		349,380千円	369,412千円
661 自主財源確保促進事業										上下水道局経営課		経営課長 中澤 宏和	
目的	下水道事業の資産を有効活用することにより、自主財源の確保を図るとともに企業経営の健全化に努める。									開始	H29	R6	R7
										予算現額		8,275千円	7,797千円
内容	自主財源の確保に向けて、以下の取組を実施する。 ①マンホール蓋(デザイン蓋及びイルミネーション蓋)を活用し、企業等の広告を掲載 ②検針票への広告掲載 ③広報紙への広告掲載									決算額(R7見込)		4,213千円	4,823千円
										正規職員数		0.62人	0.80人
指標	現金残高(下水道事業会計)公営企業の事業継続性に関する状況を示す指標。 数値は、下水道事業会計における各年度末の現金残高。 目標は、安定的な事業継続のために確保すべき運転資金の値。毎年度、20億円以上をめざすもの。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		5,060千円	6,758千円
							35億円	29億円	20億円	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	B:やや貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		9,273千円	11,581千円
661 イメージアップ事業(上下水道施設見学)										上下水道局経営課		経営課長 中澤 宏和	
目的	上下水道に関する知識・理解を深め、水資源の大切さや環境衛生の保全に対する意識を高める。									開始	R2	R6	R7
										予算現額		122千円	119千円
内容	親子参加型の施設見学会を実施する。 対象:小学4年生から6年生の児童とその保護者 15組30名 視察先:埼玉県大久保浄水場ほか									決算額(R7見込)		79千円	87千円
										正規職員数		0.58人	0.58人
指標	参加者の満足度(実施後のアンケートで「楽しかった」又は「まあまあ楽しかった」と回答した人数の割合) 上下水道に関する理解や関心の高まりを把握する指標として参加者の満足度を設定し、9割以上の満足度を達成できることを目標としている。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		4,734千円	4,899千円
							100%	100%	90%	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	B:やや貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	B:余地はある	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		4,813千円	4,986千円
662 下水道管渠布設事業										上下水道局下水道整備課		下水道整備課長 森田 敏幸	
目的	生活環境の改善と公共用水域の水質保全のため、主に下水道未整備区域において汚水管の整備を進め、汚水処理区域の拡大を図る。									開始	H15	R6	R7
										予算現額		2,254,025千円	1,167,129千円
内容	「第1次市街化調整区域下水道整備計画」は、平成15年度から第1期から第4期までの事業に区分して計画的に推進し、令和7年度に完了した。令和8年度からは「第2次市街化調整区域下水道整備計画」に基づき、前期及び後期の各5年間で整備期間として事業を進める。									決算額(R7見込)		1,751,311千円	769,938千円
										正規職員数		12.17人	10.38人
指標	下水道整備済面積の割合生活環境の改善と公共用水域の水質保全に関する取組状況を示す指標。 数値は、第2次市街化調整区域下水道整備計画のうち、前期整備事業(令和8年度から12年度)において整備を予定する下水道整備面積に対し、下水道整備が完了した面積の割合。令和10年度までに60.0%をめざすもの。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		99,332千円	87,680千円
							0%	0%	60.0%	その他職員割合		1.00人	1.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		1,850,643千円	857,618千円
663 雨水貯留施設(雨水調整池)築造事業										上下水道局下水道整備課		下水道整備課長 森田 敏幸	
目的	令和3年度に実施した上新井地区浸水対策検討業務委託に基づき、上新井四丁目地区について、効率的に浸水被害の軽減を図る。									開始	R5	R6	R7
										予算現額		200,076千円	529,662千円
内容	地区内の既存管渠を利用して、一時的に雨水を貯留する施設(雨水調整池)を公園地下に築造する。									決算額(R7見込)		179,432千円	275,601千円
										正規職員数		0.75人	1.10人
指標	事業完了に向けた各年度の進捗率。 事業の進捗状況を確認することで目標達成の成果を把握する。						R5現状	R7実績	R8目標	正規職員数(費)		6,122千円	9,292千円
							0%	67%	100%	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		185,554千円	284,893千円

663 下水道維持管理事業										上下水道局下水道維持課			下水道維持課長 新井 伸二	
目的	重要なライフラインである下水道を適切に維持管理し、その機能を発揮させ継続的に利用できる環境を整える。									開始	S33	R6	R7	
										予算現額		1,996,464千円	2,380,483千円	
内容	以下のとおり、下水道の維持管理を行う。 ①土砂及び油脂の堆積による流下能力の低下を防ぐための下水道管渠清掃 ②老朽化している施設の更新 ③下水道施設から発生する臭気対策及び道路陥没等のテレビカメラを使用した原因調査 ④降雨災害防止のための対策及び巡視 ⑤市内ポンプ場・調整池等の適切な運転管理、監視・安全管理の徹底									決算額(R7見込)	1,873,832千円	2,107,176千円		
										正規職員数		10.80人	10.52人	
指標	改善要望対応割合。 マンホール蓋のガタツキ、振動、騒音、下水道管の詰まり、臭気、溢れ等の改善要望数に対し、改善が完了した割合とする。 すべての要望に対応する「100%」を目標とする。								R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	88,150千円	88,862千円
									100%	100%	100%	その他職員割合	0.00人	0.20人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	1,961,982千円	2,196,038千円		
663 下水道地震対策事業										上下水道局下水道維持課			下水道維持課長 新井 伸二	
目的	所沢市下水道総合地震対策計画に基づき、重要な幹線や緊急輸送道路等に埋設されている下水道施設を対象に、災害に強いライフラインを構築するため、管渠やマンホール等の耐震化を進める。									開始	H21	R6	R7	
										予算現額		1,049,386千円	749,393千円	
内容	令和5年度からは、長期計画に基づき管路施設約55kmについて耐震診断を行い、耐震化が必要な施設(管渠、マンホール、調整池4か所)について工事を行う。									決算額(R7見込)	769,669千円	315,391千円		
										正規職員数		1.45人	1.79人	
指標	雨水調整池の耐震化工事完了箇所数災害時に強い下水道施設に関する取組状況を測る指標。 数値は、雨水調整池の耐震化工事が完了した箇所数。令和9年度までに4箇所の増加をめざすもの。								R5現状	R7実績	R9目標	正規職員数(費)	11,835千円	15,120千円
									1箇所	3箇所	5箇所	その他職員割合	0.00人	0.10人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	781,504千円	330,511千円		
664 下水道ストックマネジメント事業										上下水道局下水道維持課			下水道維持課長 新井 伸二	
目的	所沢市下水道ストックマネジメント計画及び所沢市下水道ストックマネジメント実施方針に基づき、計画的に予防保全を中心とした維持管理を実施する。									開始	H23	R6	R7	
										予算現額		510,619千円	637,000千円	
内容	下水道管渠の更生・布設替え及び管内カメラ調査・診断等を実施し、事業費の平準化を図りつつ計画的に予防保全を中心とした維持管理を行い、下水道機能を持続的に確保する。									決算額(R7見込)	393,149千円	390,459千円		
										正規職員数		5.20人	3.60人	
指標	下水道管渠の更生・布設替工事延長(累計)下水道施設の計画的な修繕・改築等の取組状況を示す指標。 数値は、下水道施設の老朽化対策のため実施する下水道管渠の更生・布設替工事延長。令和10年度までに13,431mをめざすもの。								R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	42,442千円	30,409千円
									3,874m	5,822m	13,431m	その他職員割合	0.00人	0.20人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	435,591千円	420,868千円		
664 雨天時浸入水対策事業										上下水道局下水道維持課			下水道維持課長 新井 伸二	
目的	近年、下水道施設の老朽化に伴い、台風やゲリラ豪雨などの雨天時に汚水管への雨水の流入を起因としたマンホール蓋の飛散、溢水、宅地内への逆流等の被害が多発している。これをうけて、流量の調整を行うことで、下流への流下量を低減させるものである。									開始	R3	R6	R7	
										予算現額		190,893千円	268,550千円	
内容	発生原因箇所への対策として汚水管の改築や雨水施設の設置等を行うことで、汚水管へ浸入する雨水の量を抑制するとともに、施設対策として汚水貯留施設等を築造し流量の調整を行うことで、下流への流下量を低減させる。									決算額(R7見込)	99,988千円	99,736千円		
										正規職員数		2.03人	1.68人	
指標	雨天時浸入水対策モデル地区(下安松グリーンヒル地区・北野第一つばき苑地区)の対策地区数								R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	16,569千円	14,191千円
									0地区	1地区	2地区	その他職員割合	0.00人	0.10人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	116,557千円	113,927千円		
664 ウォーターPPP導入検討事業										上下水道局下水道維持課			下水道維持課長 新井 伸二	
目的	職員の減少、老朽化施設の増加及び人口減少による使用料収入減少等の諸問題が下水道事業における大きな課題となっている点を踏まえ、下水道施設管理の執行体制の確保及び効率性かつ効果的な下水道施設の維持・管理・更新を継続的に実施していくため、ウォーターPPPの導入について検討する。									開始	R7	R6	R7	
										予算現額		-	49,863千円	
内容	ウォーターPPPのうち管理・更新一体マネジメント方式の導入について検討する。									決算額(R7見込)	-	30,250千円		
										正規職員数		-	2.05人	
指標	ウォーターPPP導入基本方針の策定								R7現状	R7実績	R7目標	正規職員数(費)	-	17,316千円
									0%	100%	100%	その他職員割合	-	0.10人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	V:事業終了	決算額+人件費	-	47,566千円		

664 下水道ストックマネジメント事業(全国特別重点調査)										上下水道局下水道維持課		下水道維持課長 新井 伸二	
目的	令和7年1月28日に埼玉県八潮市で下水道管路の破損に起因すると考えられる道路陥没事故が発生したことに伴い、国土交通省からの要請をうけて下水道管路の特別重点調査を実施する。									開始	R7	R6	R7
										予算現額			18,649千円
内容	所沢市内の口径2m以上かつ平成6年度以前に設置した下水道管について、調査を実施する。									決算額(R7見込)			17,325千円
										正規職員数			2.00人
指標	特別重点調査の対象である口径2m以上かつ平成6年度以前に設置した下水道管のテレビカメラ調査延長								R7現状	R7実績	R7目標	正規職員数(費)	16,894千円
									0m	9,783m	9,783m	その他職員割合	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり		方向性	V:事業終了		決算額+人件費	34,219千円
671 長期優良住宅の普及の促進に関する法律に基づく認定事務・低炭素法建築物等の認定事務										街づくり計画部建築指導課		建築指導課長 河口 裕孝	
目的	良好な住環境の形成に向け、脱炭素やバリアフリー等に配慮した住宅・住環境づくりを推進するもの。									開始	H21	R6	R7
										予算現額		0千円	0千円
内容	長期優良住宅の普及の促進に関する法律、都市の低炭素化の促進に関する法律に基づく申請に対し、認定を実施。									決算額(R7見込)		0千円	0千円
										正規職員数		1.23人	1.16人
指標	環境に配慮した住宅施策の成果を測る指標。 数値は、長期優良住宅・低炭素建築物等計画の認定件数。 令和10年度までに250件の増加をめざすもの。								R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	10,039千円
									250件	665件	500件	その他職員割合	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	A:計画以上		方向性	II:継続		決算額+人件費	9,799千円
671 こばし団地における一団地認定基準等検討事業										街づくり計画部建築指導課		建築指導課長 河口 裕孝	
目的	一団地認定制度は、一敷地一建物の原則の例外として、一団地内の土地について総合的設計制度を活用することにより、複数の建物が一つの敷地にあるものとみなして、建築制限の特例を受けるものである。こばし団地は同制度を活用して建築された住宅団地であり、認定区域内において建替え等をする場合は、変更認定を受ける必要がある。 本事業は、一団地認定を受けている「こばし団地」において、建替え等をする場合に円滑に進められることを目的とする。									開始	R5	R6	R7
										予算現額		78千円	462千円
内容	建替え等の基準及び手続きについて検討する。検討に当たっては、住民主体の組織と協力しつつ進める。									決算額(R7見込)		38千円	380千円
										正規職員数		0.55人	0.45人
指標	事業の進捗状況 基準作成に向けたステップを効率的に進めていくため、進捗状況を指標とする。								R5現状	R7実績	R9目標	正規職員数(費)	4,489千円
									勉強会等の開催	意向調査の実施	基準の策定	その他職員割合	0人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり		方向性	II:継続		決算額+人件費	4,181千円
671 我が家の耐震診断・耐震改修補助事業										街づくり計画部住宅政策課		住宅政策課長 神尾 久	
目的	「所沢市建築物耐震改修促進計画」に基づき、市民が安全で安心した生活のできる災害に強い住環境を整備することを目的とする。									開始	H19	R6	R7
										予算現額		2,000千円	2,900千円
内容	市内の住宅等の耐震化を図るため、民間建築物の耐震診断及び耐震改修費用の一部を補助する。									決算額(R7見込)		1,100千円	1,400千円
										正規職員数		0.26人	1.00人
指標	住宅の耐震診断・耐震改修補助金の活用状況を図る指標。 数値は、耐震診断・耐震改修補助金申請件数であり、令和10年度の申請件数として16件を目指す。								R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	2,122千円
									3件	4件	16件	その他職員割合	0人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	B:余地はある	進捗状況	B:計画通り		方向性	II:継続		決算額+人件費	9,847千円
672 市営住宅運営事業										街づくり計画部住宅政策課		住宅政策課長 神尾 久	
目的	市民生活の安定と社会福祉の増進を図ることを目的とする。									開始	S27	R6	R7
										予算現額		217,369千円	217,379千円
内容	住宅に困窮する低額所得者に対して、健全な生活を営むことのできる市営住宅を整備し、低廉な家賃で賃貸する。									決算額(R7見込)		211,352千円	215,559千円
										正規職員数		2.34人	1.50人
指標	市営住宅の入居率市営住宅の活用状況を図る指標。 数値は、市営住宅の入居率。令和10年度までに5%の増加を目指すもの。								R5現状	R7実績	R10	正規職員数(費)	19,099千円
									87.7%	87.1%	92.7%	その他職員割合	1.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	B:余地はある	進捗状況	B:計画どおり		方向性	II:継続		決算額+人件費	228,230千円

673 マンション管理適正化支援事業										街づくり計画部住宅政策課				住宅政策課長 神尾 久	
目的	分譲マンションの管理不全の解消や自主管理水準の向上することにより、住環境の保全に寄与することを目的とする。									開始	R3	R6	R7		
										予算現額		994千円	994千円		
内容	届出制度による管理実態の把握、管理不全の兆候が見られる要支援マンション等へのアドバイザーや専門家派遣、無料定期相談会の開催等の支援を実施する。									決算額(R7見込)		994千円	824千円		
										正規職員数		1.39人	1.70人		
指標	民間マンション居住者等への支援施策の取組状況を測る指標。 数値は、マンション管理無料相談会における相談受付数。令和10年度までに50件をめざすもの。								R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	11,345千円	14,360千円	
									42件	21件	50件	その他職員割合	0.00人	0.00人	
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	B:余地はある	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費	12,339千円	15,184千円		